

第107回 令和7年10月21日(火)

先日右腕の骨折の手術をしました。始まる前は全然緊張もせず(やるのはお医者さんでこっちは寝ているだけですから。)全身麻酔に身を任せたのですが終わって痛みにビックリ。頼むからもう一度寝かしてくれと懇願したほどです。いまは痛みこそないですがこれから厳しいリハビリが待っています。

入院中に朝井リョウさんの「イン・ザ・メガチャーチ」を1日で読み切りました。行動経済学は興味があるのでよく本を買うのですが、社会のマーケットにどれだけ踊らされているか、怖くなるようなお話をしました。

人間をコントロールすることがどれだけ可能なのか。簡単なところで言えば「残り何日」と書かれたセール品の販売はつい買ってしまいますし、そもそもとの値段を知らなくても「半額」シールには目が行きます。

自分の決定がどこかで操作されていると考えると自分らしい人生とは何だろうと思います。ほとんどの人間は消費の世界に取り込まれてお金を使わされ、そのために働いて、自分の時間を失っていきます。

趣味に没頭することもお金がかかります。定年後は登山や海外旅行など、こんなに楽しいことが待っていますよとコマーシャルをして退職金や老後資金が減っていきます。もちろんお墓までお金は持つていけないので無理に貯めるのもどうかと思いますが、市場の戦略にのせられて使うのも考えどころです。

思った以上にマーケティングは人間の特性を知り尽くしています。スマホが人々の思考を操作するツールであることは疑いようがありません。スマートネイティブ世代が増えていけば、その傾向はより強まるに違いありません。

このシステムに対抗する方法は「スマホがなかった時代やテレビがなかった時代」を学ぶことではないでしょうか。紙をベースとした古典に触れることが大事だと思います。

不便な時代に戻ることはできなくても、普遍的な課題や思考に立ち戻ることができます。コントロールされていない生き方の中に答えが隠されていることもあります。

「きみたちはどう生きるか」の大ヒットなども同じ要因ではないでしょうか。

一度の人生です。自分で生きることの大切さを今一度考えてください。世間に示された「大人はこうあるべき」というモデルには真似をしてもまったく同じにはならないようにできています。自分と比較する必要はまったくありません。